

(法第28条第1項関係様式例)

## 2022年度事業報告書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

(特定非営利活動法人ブルーサークル2050)

### 1 事業の成果

2022年度(令和4年度)は、2020年度初めに始まった新型コロナウイルス感染症による、日常生活のみならず、診療、教育、研究、また疾患啓発活動においても制限の解除が困難な時期が続いた。当NPOの活動としても対面会議形式の役員会を開催することができず、また、感染予防の観点から啓発、教育に関わる事業など、従来通りの活動ができないなど、大きな影響が続き、以下の表のとおり、23件の活動の報告にとどまった。このような状況の中ではあったが、ハイブリッド形式での対面による講演会や会議の開催の機会を徐々に得ることができた。糖尿病を中心とした生活習慣病の予防教育に関しては、熊本県糖尿病対策推進会議、各圏域の糖尿病保健医療連絡会議等への参加の要請があり、現場での参加のみならず、WEB講演や書面会議などの方法で、生活習慣病および糖尿病予防対策(重症化予防および合併症予防、糖尿病腎症重症化予防プログラム推進を含む)に関する講演、ディスカッションおよび会議での助言や解説等の活動を行った。

糖尿病を中心とした生活習慣病の啓発活動について

1) 熊本県独自の糖尿病対策事業の1つであるブルーサークルメニュー(BCM)開発事業に関する活動として、コロナ禍にあって、提供店の現状を把握すべく、アンケート調査を行った。2023年3月末のBCM提供店舗およびメニュー数は、マイスター店105店舗(うちヒライ86店舗)42メニュー、BCMのみ提供店12店舗19メニューの計117店舗、61メニューである。また、2022年度は1店舗1メニューを新規審査、1店舗1メニューの修正の審査を受け付けた。

アンケートの結果を踏まえ、提供を継続していただける店舗のさらなる応援、および、新たな提供店開拓へのアピールとして、ブルーサークルメニューに関わるホームページの改定、SNS(LINE、Face Book等)を利用した、情報発信を活動の方針の一つとした。一方で、コロナ禍にあった社会情勢の回復の気運や、ブルーサークルメニューが開発10年目の節目を迎えたこともあり、現況に合わせた本メニューの栄養学的定義の改定の議論を行った。栄養学的な理論的根拠を踏まえ、「1食あたり総エネルギー650キロカロリー未満、塩分3グラム未満、栄養バランスの整った美味しい外食メニュー」と定義し、2023年4月以降のブルーサークルメニュー開発に適用することとした。また、令和4年12月18日、ハイブリッド形式でブルーサークルメニューの基準の見直しについての説明会を開催した。

2) ブルーサークルメニュー社員食堂版の開発と提供を継続した本事業は平成26年3月までは熊本県健康づくりモデル事業(健康長寿推進事業)として実施、平成27年度以降は本NPOが事業を継続してきた。具体的には、KMバイオロジクス株式会社(旧化血研)と熊本大学病院栄養管理部が連携を継続してきたが、長引くコロナ禍の影響で、BCMを含む社員食堂での社食提供の環境が変化、同事業の継続が難しいと判断し、本年度の事業の継続を断念した。ただし、BCMの基準を満たすメニューの提供の意思は示されており、BCMの一メニューとして継続してゆく方向で話を進めている。

3) 糖尿病を中心とした生活習慣病に関する調査研究に関しては、熊本大学病院における大規模糖尿

病診療実態調査「J-DREAMS 研究」を継続して支援した。

4) 保健関係者および医療者の育成と教育に関し、本 NPO は熊本地域糖尿病療養指導士 (CDE Kumamoto) 認定委員会の設立と運営に積極的に関与してきた。令和 4 年度も試験問題の作成、認定委員会の実施等に、人的、学術的、経済的に貢献した。また、熊本糖尿病医療学研究会実行委員会への参加なども継続している。

5) 本法人ホームページを充実すべく、HP のサーバー上での仕様を変更した。この変更により、事務局側でコンテンツの掲載、拡張を行えるほか、公式 SNS サイトの立ち上げ、教室やその他関連団体の HP や SNS との連携が可能となり、法人の活動の報告、BCM 関連情報をより多くの人にご覧いただくことができるようになった。熊本大学病院栄養管理部の協力も得て、シリーズコンテンツの定期的な配信も行った。

その他、学術講演会・研究会の後援活動、演者の選定に関する助言・提案の実施をおこなった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名 糖尿病を中心とした生活習慣病の患者数減少を目指す事業

No	事業内容	実地日時	実地場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
1	新聞記事検索、各種メディア検索 (検索ワード:糖尿病・生活習慣病・熊本地震・災害対策/医療/関連死・女性等)	通年	-	2人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
2	熊本大学病院 糖尿病教室開催(支援)	通年	大学病院内 各会議室	3人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
3	南阿蘇村周辺地域の糖尿病医療の維持・改善 (阿蘇立野病院への医師派遣)(支援)	2022/4/1 ~(通年)	阿蘇立野病院	1人	糖尿病患者を含む 生活習慣病患 300人
4	令和3年度熊本大学関連公益法人等に関する追加調査への回答 (依頼)	2022.4.20	-	2人	-
5	コロナ禍における糖尿病診療と新たなインスリン治療戦略(後援)	2022.4.25	ホテル日航熊本 5F「天草」	2人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
6	当法人理事会 メール審議開催	2022.5.31 ~6.7	-	18人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
7	インスリン発見101年 ~次の100年に向けて~(後援)	2022.6.9	熊本ホテルキャッスル BF1「クリスタルホール」	3人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
8	当法人総会開催	2022.6.14	臨床研究棟1F カンファレンス室	30人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
9	第24回 熊本糖尿病フォーラム(後援)	2022.7.15	ホテルメルパルク 熊本 2階『白川』/Web 配信	3人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人
10	当法人への寄附依頼送付(啓発活動支援)	2021.7~9	-	3人	-
11	DKD フロンティアカンファレンス in 熊本(後援)	2022.7.19	ANA クラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ 2階『平安』	3人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10万人

12	肥後っこスマイルサマーキャンプ Online 2022 ! (後援)	2022.7.31	Web 配信	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
13	第 22 回 日本内分泌学会九州支部学術集会(後援)	2022.9.3	熊本城ホール シ ビックホールほか	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
14	第 12 回 Diabetes Masters Conference in Kumamoto(後援)	2022.10.27	ホテル日航熊本 5階「天草」/Web 配信	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
15	WORLD DIABETES DAY 2022 in KUMAMOTO(啓発活動支援)	2022.11.14	熊本城 及び SAKURA MACHI Kumamoto	3 人	熊本県内の糖尿病患者を始めた生活習慣病患者推定 30 万人
16	isCGM がつなぐインスリン治療 in KUMAMOTO(後援)	2022.12.6	ホテル日航熊本 7F「Sora」/Web 配 信	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
17	Diabetes Seminar ～血糖変動モニタリング新時代～(後援)	2022.12.7	ホテル日航熊本 7 階「 ガーデンバンケット sora」/WEB 配信	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
18	当法人 ブルーサークルメニュー説明会(啓発活動、BCM 開発)	2022.12.18	熊本大学臨床医学研究 棟 1 階 カンファレンス ルーム 1/WEB 配信	5 人	熊本県内の糖尿病患者を始めた生活習慣病患者推定 30 万人
19	熊本県健康づくり推進課 くま食健康マイスター店 BCM 認定審査 (啓発活動支援、BCM 開発)	2022.12～ 2023.1	-	2 人	熊本県内の糖尿病患者を始めた生活習慣病患者推定 30 万人
20	熊本糖尿病ネットワーク研究会《ハイブリッド形式》(後援)	2023.2.28	熊本城ホール 3 階中会議室	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
21	熊本県 GLP-1 Update Seminar(後援)	2023.3.13	ホテル熊本テル サ 2 階「さくら」	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
22	当法人 ホームページ改修および更新(啓発活動)	2022.10～ 2023.3	Web	3 人	熊本県内の糖尿病患者 推定 10 万人
23	令和 4 年度関連公益法人等に関する調査について回答(依頼)	2023.3.3	-	2 人	-

支出金額 ￥98,122